

学校法人 専修大学 11年度決算概要

学校法人専修大学の2011年度決算は、5月23日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、「21世紀ビジョン」社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っており、11年度は、策定した事業計画に基づき、教育・研究力の強化、学生支援の充実、知の発信及び広報活動の強化等を進めた。また、東日本大震災により被災した学生に対する学費減免特別措置や、被災者支援スカラーシップ入学試験を実施し、被災した志願者には12年度全入学試験において入学検定料を免除する措置を講じた。

激震地であった石巻専修大学は、「復興共生プロジェクト」を発足させ、宮城県や石巻市等と連携しながら、防災と復興に係る

諸事業を展開するなど、地域とともに復興を目指している。

専修大学は、修学意欲や目的意識等多様化してきている学生の学習効果を高めるべく、学部教育の改革に取り組んだ。法学部は、卒業要件単位数の変更や、厳格な履修上限単位数の設定等カリキュラム改正を実施し、文学部人文・ジャーナリズム学科では、ジャーナリズムの最前線で活躍する人材を活用した協力講座を開講した。大学院は、社会知性開発研究センターの研究成果を大学院教育に反映させるため、学際的共通授業科目「特殊問題特論」を全研究科の修士課程で開講した。法科大学院は、各授業科目に目標・到達レベル(到達目標)を設定する等、教育の質の向上に努めた。

研究力の強化については、文部科学省私立

立大学戦略的研究基盤形成支援事業に選定された研究プロジェクトをはじめ6つの研究拠点を展開した。また、科学研究費助成事業の新規課題採択率が41.1%となり、文部科学省の公表資料によると、全研究機関中12位、私立大学では2位という高率になった。

石巻専修大学は、「実践的な教育」を大学の教育目標として新たに設定した。また、学部教育において厳格な成績評価を実施するため、GPA制度の試験運用を図った。この試みに基づき、12年度から本制度を本格導入する。学生の就職については、東日本大震災による企業の採用抑制が懸念されたが、東北に所在する企業を中心に、数百家から求人情報を調査・収集し、学生に提供した。あわせて、首都圏や関西に所

在する企業への就職希望者を対象に、就職支援バスツアーを実施した。会計専門職の養成については、経営学部が「会計学入門」を1年次必修科目として開講しており、加えて、日商簿記試験対策講座を実施した結果、日商簿記試験の合格者は前年度から倍増した。

わが国は、東日本大震災からの復興に加え、少子高齢化、グローバル化、環境・エネルギー問題等様々な課題に直面しており、新たな日本のあるべき姿を描くことが求められている。このような状況にあって、本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」は大きな意味を持っており、「社会知性」を備えた有為な人材の育成、輩出に努めていく。

請の減、石巻専修大学における個人研究費費目変更に伴う減等による。

②教育研究経費支出は、予算比0.74%減の60億7950万円(前年度比では12.90%の増)。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・消耗品費支出：3億8602万円(1486万円)の減

・ネットワーク情報学部におけるソフトウェアおよび物品購入の減等による。

・旅費交通費支出：2億2669万円(2600万円の減)

・石巻専修大学における個人研究費に係る旅費の減ならびに高速道路無料化に伴う通学支援バス交通費の減等による。

・奨学費支出：10億6831万円(1億3959万円の増)

・被災学生に対する学費減免奨学金の増等による。

・補助費支出：2億3795万円(1771万円の減)

・ゼミナル等援助金申

の減)

・神田校舎5号館解体工事の延期、各所管派遣業務の委託費減等による。

・雑費支出：1億8593万円(1億5426万円の増)

被災した志願者に対する入学検定料免除額を計上したこと等による増

④借入金等利息支出は、3138万円。神田校舎隣接地購入に伴う借入金利息を含んでいる。

⑤借入金等返済支出は、予算どおりで7億8776万円。神田校舎隣接地購入に伴う借入金の償還分を含んでいる。

⑥施設関係支出は、予算比12.17%減の5億6460万円(前年度比では89.32%の減)。

このうち土地支出は、旧板硝子会館他解体工事を延期したこと、また建設仮勘定支出は(仮称)国際交流会館の設計監理を見送ったこと等による減となっている。

※⑥の主な内容については、後記の「主な施設等整備事項」に記載。

⑦設備関係支出は、予算比6.40%増の5億1076万円(前年度比では73.94%の減)。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比11.46%増の2億9716万円で、差異は、石巻専修大学における災害復旧費補助金による機器備品の購入等となっている。

⑧資産運用支出は、予算比12.19%減の12億2647万円(前年度比では21.57%の減)。

退職給与引当資産への

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比1.08%増の252億2525万円(前年度比では12.52%の減)となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0.77%増の350億6771万円となっている(前年度比では11.35%の減)。

支出の部では、当年度支出合計が予算比0.43%減の256億705万円(前年度比では13.83%の減)で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み94億6065万円となっている(前年度比では3.88%の減)。

①学生生徒等納付金収入は、予算比0.16%増の203億105万円(前年度比では3.03%の減)。最終在籍者が専修大学で2万14人、石巻専修大学で1772

②手数料収入は、予算比17.38%増の11億426771万円(前年度比では85万円(前年度比では0.88%の増)。このうち、入学検定料収入は、予算比18.02%増の11億2777万円(前年度比では1.26%の増)。入学志願者数が予算と比べ専修大学で7352人の増、石巻専修大学で156人の減となっている。

③寄付金収入は、予算比25.87%増の3億1466万円(前年度比では254.22%の増)。

東日本大震災により被災した学生に対する支援金の増等となっている。

④補助金収入は、予算比14.12%増の27億108万円(前年度比では26.06%の増)。このうち、国庫補助金収入は、

増等による。

⑧雑収入は、予算比0.60%増の10億7535万円(前年度比では145.32%の増)。差異は、専修大学・石巻専修大学における科学研究費補助金の間接経費の増等による。

⑨前受金収入は、2012年度入学者の入学手続き時における納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、40億2662万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で3億6697万円。

資金収入調整勘定(収入の振替除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で53億6924万円となっている。

⑥資産売却収入は、有価証券売却収入で、2011年度は売却を行っていない。

⑦事業収入は、予算比0.61%増の4億2518万円(前年度比では9.25%の減)。差異は、石巻専修大学における学

(1) 収入の部

①学生生徒等納付金収入は、予算比0.16%増の203億105万円(前年度比では3.03%の減)。最終在籍者が専修大学で2万14人、石巻専修大学で1772

②手数料収入は、予算比17.38%増の11億426771万円(前年度比では85万円(前年度比では0.88%の増)。このうち、入学検定料収入は、

③寄付金収入は、予算比25.87%増の3億1466万円(前年度比では254.22%の増)。

東日本大震災により被災した学生に対する支援金の増等となっている。

④補助金収入は、予算比14.12%増の27億108万円(前年度比では26.06%の増)。このうち、国庫補助金収入は、

増等による。

⑧雑収入は、予算比0.60%増の10億7535万円(前年度比では145.32%の増)。差異は、専修大学・石巻専修大学における科学研究費補助金の間接経費の増等による。

⑨前受金収入は、2012年度入学者の入学手続き時における納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、40億2662万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で3億6697万円。

資金収入調整勘定(収入の振替除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で53億6924万円となっている。

⑥資産売却収入は、有価証券売却収入で、2011年度は売却を行っていない。

⑦事業収入は、予算比0.61%増の4億2518万円(前年度比では9.25%の減)。差異は、石巻専修大学における学

①人件費支出は、予算比0.48%減の151億9343万円(前年度比では7.59%の増)。差異は、休職者・育児休業者等の増に伴う本給の減、臨時雇員の採用減等

②教育研究経費支出は、予算比0.74%減の60億7950万円(前年度比では12.90%の増)。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・消耗品費支出：3億8602万円(1486万円)の減

・ネットワーク情報学部におけるソフトウェアおよび物品購入の減等による。

・旅費交通費支出：2億2669万円(2600万円の減)

・石巻専修大学における個人研究費に係る旅費の減ならびに高速道路無料化に伴う通学支援バス交通費の減等による。

・奨学費支出：10億6831万円(1億3959万円の増)

・被災学生に対する学費減免奨学金の増等による。

・補助費支出：2億3795万円(1771万円の減)

・ゼミナル等援助金申

(2) 支出の部

①学生生徒等納付金収入は、予算比0.16%増の203億105万円(前年度比では3.03%の減)。最終在籍者が専修大学で2万14人、石巻専修大学で1772

②手数料収入は、予算比17.38%増の11億426771万円(前年度比では85万円(前年度比では0.88%の増)。このうち、入学検定料収入は、

③寄付金収入は、予算比25.87%増の3億1466万円(前年度比では254.22%の増)。

東日本大震災により被災した学生に対する支援金の増等となっている。

④補助金収入は、予算比14.12%増の27億108万円(前年度比では26.06%の増)。このうち、国庫補助金収入は、

増等による。

⑧雑収入は、予算比0.60%増の10億7535万円(前年度比では145.32%の増)。差異は、専修大学・石巻専修大学における科学研究費補助金の間接経費の増等による。

⑨前受金収入は、2012年度入学者の入学手続き時における納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、40億2662万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で3億6697万円。

資金収入調整勘定(収入の振替除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で53億6924万円となっている。

⑥資産売却収入は、有価証券売却収入で、2011年度は売却を行っていない。

⑦事業収入は、予算比0.61%増の4億2518万円(前年度比では9.25%の減)。差異は、石巻専修大学における学

①人件費支出は、予算比0.48%減の151億9343万円(前年度比では7.59%の増)。差異は、休職者・育児休業者等の増に伴う本給の減、臨時雇員の採用減等

②教育研究経費支出は、予算比0.74%減の60億7950万円(前年度比では12.90%の増)。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・消耗品費支出：3億8602万円(1486万円)の減

・ネットワーク情報学部におけるソフトウェアおよび物品購入の減等による。

・旅費交通費支出：2億2669万円(2600万円の減)

・石巻専修大学における個人研究費に係る旅費の減ならびに高速道路無料化に伴う通学支援バス交通費の減等による。

・奨学費支出：10億6831万円(1億3959万円の増)

・被災学生に対する学費減免奨学金の増等による。

・補助費支出：2億3795万円(1771万円の減)

・ゼミナル等援助金申

2 消費収支計算書

消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が予算比2.68%増の264億652万円となった(前年度比では2.60%増(6億6970万円)の増)。基本金組入額合計が、予算比4.09%増の10億4830万円(前年度比では66.09%の減)となり、消費収入の部合計は、予算比2.62%増の253億5821万円(前年度比では11.98%増(27億1282万円)の増)となった。

基本金組入額合計の内訳

第1号基本金 10億232万円の組入(当年度取得資産及び借入金返済等の組入額)

第2号基本金 当年度書と共通の科目があるの組入額なし(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)

第3号基本金 4598万円の組入(学術奨励基金引当資産等の組入

①神田1号館エレベーター13号機更新工事②神田2・3号館1階広場可動屋根及び可動設置工事③生田3号館解体に伴う生田4号館受水槽新設工事④生田7号館空調設備改修工事・電気設備工事⑤生田会館1階電気室高圧配電盤改修工事⑥生田総合体育館アリーナ水戸改修工事の震災による生田校舎中央監視設備切替え工事⑧震災による

(主な施設等整備事項)

生田食堂棟地下1階受変電設備新設工事⑨震災による生田食堂棟3階他復旧に伴う電気設備・空調設備・衛生設備設置工事⑩震災による生田校舎学内ネットワーク配線切替え工事⑪震災による生田3号館解体に伴う道路拡幅工事

〈石巻専修大学〉

①2号館教室パッケージエアコン新設工事②4号館教室パッケージエアコン工事③熱源改修工事④台船復旧工事

(1) 消費収入の部

①寄付金は、予算比30.04%増の5億2028万円(前年度比では58.92%の増)。

②教育研究経費は、予算比0.22%減の86億4012万円(前年度比では7.75%の増)で、減価償却額25億6061万円を含んでいる。

③管理経費は、予算比5.79%増の18億9411万円(前年度比では7.28%の減)で、減価償却額2億4586万円を含んでいる。

④資産処分差額は、予算比46.05%増の2億3531万円(前年度比では462.24%の増)。